

「ほっとルーム」だより



第107号 平成29年 7月3日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

7月は、**照島小学校**で「おあしす」を開設します。



7月6日(木)には、照島小学校で「おあしす」を開設します。今回は、家庭教育学級の後行う予定です。家庭訪問をする1・2年生の長子家庭だけでなく、他の御家庭の方々ともお話ができればありがたいです。お茶の準備をしてお待ちしております。お気軽にお立ち寄りください。

- 出前サロン開設予定日時 **7月6日(木)** (午後2時20分～4時45分)
- 出前サロン「おあしす」の場所 **PTA会議室**

子育てアドバイス

子ども一人一人の、物差しを！

今の子どもたちは、「自分は家族に、必要とされている」という実感をもっているだろうか。良い成績、良い点数をとった時以外は、子どもたちは「私は、この家に必要とされていないのでは」と思う。だから、成績が下がった時、子どもたちは、「僕は、見捨てられるんじゃないか」と感じる。これが、見捨てられ不安と言われます。ただ、子ども達は、その不安を言葉にできません。



兄弟を、テストの点数という
1つの物差しでみていませんか。

① この子の良い所を、みつけよう。

- 出来ないと思っていた子も、良い所がたくさんあることに気づきます。例えば、料理が好きな子、スポーツが得意な子等。

子どもが3人いたら、3つの物差しでみましょう。
3人それぞれ、長所があります。



② 子どもの小さな出番をつくろう。 ⇒「あなたがいるから助かる」

- お風呂をピッとつける役は、お姉ちゃん、新聞をもってくるのは、弟の役目など・・・。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内

TEL 21-5130 : FAX 36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも訪問いたします。**

家庭教育について提言をいただきました。

J A さつま日置 串木野支所長 赤岩 喜久生

これまでの子どもの成長を振り返り、1番大切な思春期、親に反抗したくなる反抗期、誰しも越えなければならない道、それぞれの家庭で様々だと思います。



長女が小学校3年生の夏休みの終わりに入院し、母親が付き添う事になり、二女に寂しい思いをさせてしまったことがありました。母親がいない間、殆ど父親との生活。できる限り寂しくない様、何があっても叱らないように気をつけ、母親が付き添っていた間、とても素直でした。

しかし、中学校に進級した頃から、両親に対する態度が変化し、特に言葉遣いが荒くなりました。

反抗期だったのです。高校に入学してからも心配が続きましたが、高校卒業間近、娘から進学への思い、職業観などを徐々に話すようになりました。親に見えにくい高校生活の中で部活動を続け、九州大会への出場も果たし、部活動を続けたことが娘を大きく成長させたと思います。

今では、反抗期があっても、子どもは大きく成長していくんだと思えるようになりました。反抗期が長くてもいいから、両親の優しい思いやりが必要不可欠、がまんする時期でもあります。いろいろと大変だった子ども達だけ、「良く頑張ったね」と言葉をかけてあげたい。

これからも、挑戦する気持ちと社会に貢献できる人間に成長してと願うところです。

第1回家庭教育支援連絡協議会を開催しました。

5月29日(月)に、本年度1回目の家庭教育支援連絡協議会を開催いたしました。学校代表、まちづくり連絡協議会、女性部、主任児童委員、福祉課、健康増進課、ソーシャルワーカー、PTA、読み聞かせグループ等の各代表の方々が、出席してくださいました。



委嘱状の交付の後、教育長から県家庭教育支援条例から家庭教育支援の必要についての話がありました。

また、取組状況の説明の後、各委員からそれぞれの立場での取組から、貴重なご意見を頂きました。今年度も、それぞれの団体の皆様と連携を取りながら本事業を推進してまいります。

1回目の1年生長子家庭の訪問が終わりました。**夏休みに**訪問希望のご家庭は、1年生長子家庭に限らず、訪問いたします。

- ・電話(21-5130)「ほっとルーム」直通
- ・FAX(36-5044)
- ・希望する訪問希望日時**(第1案・第2案)**と、**自宅の電話番号**をお知らせください。
()月()日()時 ・()月()日()時 電話番号()-()